

笛吹市 議会だより

令和7年7月24日発行

2025

Vol.83



FUEFUKI CITY

政務活動費の収支状況 ② 質疑および一般質問 ⑦

会期日程・議会日誌 ⑤ 委員会レポート ⑭

提出案件一覧表 ⑥ 市民リレートーク/編集後記 ⑯

令和6年度政務活動費の収支状況

(各会派の収支報告書に基づき掲載)

政務活動費とは、地方自治法に基づき、笛吹市議会政務活動費の交付に関する条例及び施行規則を定め、研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派および議員に対し請求により交付する経費です。なお、笛吹市議会ではすべて領収書添付となっています。

- 交付金は、1人当たり月額10,000円に会派の人数を乗じた金額となり、年2回に分けて交付します。
- 交付金額に残額が生じたときは、市へ返還します。

笛新会

● 会派のメンバー 6名→5名

代表：海野利比古／保坂利定／神澤敏美／荻野謙一／神宮司正人

【活動内容】

調査研究活動に取り組んだ結果、先進地視察の重要性を確認できた。
今後も各自治体等のまちづくり政策を学び、本市の政策のための参考として、活かしていきたい。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
680,000	680,000	0	0	0	0	0	0	680,000	0

笛政クラブ

● 会派のメンバー 2名→3名

代表：古屋始芳／岡 由子／荻野陽子（令和6年11月14日加入）

【活動内容】

情報収集につとめ、市政に対する見聞を深めた。LRTの新しい流れの中「富士トラム」構想がある中で、本市のできることを考えるための情報収集につとめた。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
280,000	69,495	0	0	120,750	0	0	24,035	214,280	65,720

清心会

● 会派のメンバー 3名

代表：落合俊美／河野正博／山田宏司

【活動内容】

広く市民へ議会の説明と議員活動を報告することができた。
この報告により議会への理解度が増した。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
360,000	0	0	0	162,234	186,368	0	0	348,602	11,398

煌・フォーラム21（令和6年11月14日から） ●会派のメンバー 3名

代表：山本茂貴／三枝賢治／鈴木駿一

【活動内容】

本市の将来を見据え、新たな観光拠点づくりや公共交通機関のこれからのあり方について研修を行った。官民一体となった賑わいの創出とシビックプライドの醸成の重要性を確認した。今後も研究し、次世代のためのまちづくり等、本市に1つでも多く還元できるよう、研鑽を積んでいきたい。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
120,000	73,545	0	0	33,630	0	0	15,000	122,175	0

公明党 ●会派のメンバー 2名

代表：渡辺清美／中川秀哉

【活動内容】

市民相談、議会質問、政策提言に資する専門書籍を購入。
令和7年3月24日から25日、ふるさと納税を活用したまちづくり先進自治体の茨城県境町と、下水汚泥固形燃料化に取り組む先進自治体の千葉県市原市を行政視察した。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
240,000	0	95,830	0	61,776	0	0	1,980	159,586	80,414

マツモト・ヒグチ（令和6年11月25日から） ●会派のメンバー 2名

代表：松本なつき／樋口滝人

【活動内容】

政務活動費の使用がなかったため、市へ返還

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
80,000	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000

誠和会（令和6年11月13日まで） ●会派のメンバー 2名

代表：小林 始／中村正彦

【活動内容】

新聞により見聞を広めた。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
160,000	0	0	0	59,280	0	0	0	59,280	100,720

日本共産党（令和6年11月13日まで） ●会派のメンバー 2名

代表：渡辺正秀／河野智子

【活動内容】

議会報告を作成し新聞折込することによって、議会の様子や活動内容を市民に知らせることができ、意見を聞くことができた。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
160,000	0	0	0	0	202,215	0	0	202,215	0

無会派 [河野智子議員]（令和6年11月14日から）

【活動内容】

新聞、雑誌を購読することにより見聞を広め、他自治体の動向を知ることができ、議員活動に役立てることができた。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
40,000	0	0	0	18,460	0	0	0	18,460	21,540

無会派 [野沢今朝幸議員]（令和6年11月13日まで）

【活動内容】

新聞・書籍等の資料購入により、広く社会の動きやまた、深く情報のリテラシーをとらえることによって議員活動の助けとした。

交付金額	支出金額								返還額
	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	その他経費	合 計	
80,000	0	0	0	83,732	0	0	0	83,732	0

【備考】

1. 交付金は令和6年度分。（R6.4～R7.3まで）
2. 預金利子が発生している場合は笛吹市の雑入として処理している。
3. 支出金額に充てられる額は交付金額までとなり、支出超過分は各会派の負担としている。
4. 詳細については、笛吹市情報公開条例に基づき閲覧することができます。



令和6年度議長交際費累計執行状況

議長交際費は、議会を代表して各種行事など対外的な活動をするために要する経費で、「笛吹市議会議長交際費支出基準」に基づき執行しています。

	慶祝・弔意		会 費		接 遇		賛 助		合 計	
	4件	35,000円	8件	84,000円	2件	4,374円	1件	7,500円	15件	130,874円

6月議会・会期日程

6月2日（月）議会運営委員会、
全員協議会

6月10日（火）

■開会

●本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長行政報告

・提出議案の説明

・追加議案の説明

・質疑・討論・採決

6月17日（火）

●本会議 質疑および一般質問

6月18日（水）

●本会議 質疑および一般質問・
付託

6月19日（木）～20日（金）

・各常任委員会（付託事件審査）

6月26日（木）

●本会議、議会運営委員会、全員
協議会

・委員会審査報告・追加議案の説
明・質疑・付託・審査・審査結
果報告・討論・採決

■閉会

■閉会

議会日誌 GIKAI diary

3月 March

2日 第34回 向山杯争奪少年柔道大会

4～5日 常任委員会（補正・条例）

10日 議会運営委員会、全員協議会

第1回定例会本会議（中間日）

11日 笛吹高校生徒との座談会

12～14日 常任委員会（当初予算審査）

市立小学校卒業式

19日 石和温泉観光協会創立60周年記念「春の感謝まつり」

20日 議会運営委員会、全員協議会

21日 第1回定例会本会議（最終日）

境川ミズパショウ春まつりOPセレモニー

24日 広報編集委員会、議会だより作成研修会

峡東地域広域水道企業団議会（全協）（本会議）

25日 釈迦堂遺跡博物館組合議会（全協）（本会議）

26日 埼玉県八潮市議会視察受け入れ（会派：自民クラブ）

御坂学童保育施設竣工式、春日居子育て支援センター竣工式

27日 甲府峡東ごみ処理施設事務組合議会（幹事会）（全協）（本会議）

28日 石和中央テニスコート リニューアルオープンセレモニー

4月 April

1日 職員人事辞令交付式、消防団入退団式

3日 甲州市正副議長就任あいさつ

4日 関東市議会議長会正副会長市事務局長会議

6日 第20回笛吹市桃の里マラソン大会

7日 市立小中学校入学式

8日 桃源郷公園遊具オープニングセレモニー

9日 山梨県市議会議長会・正副会長・局長事務局長会議

10～11日 関東市議会議長会 監事会・正副会長会議・支部長会議

12日 桃源郷春まつり 第20回全国ゲートボール大会

北富士駐屯地創立65周年記念式典

13日 金毘羅神社奉納書道展表彰式

15日 おみゆきさん

16日 山梨県市議会議長会第273回定期総会

民生児童委員協議会総会

17～18日 関東市議会議長会第2回理事会・定期総会、新支部長会議

19日 第20回笛吹市体育祭り

20日 輝け男女 ふえふきフォーラム2025

21日 遺族会定期総会

22日 定例全員協議会、代表者会議

23日 令和7年度赤十字奉仕団定期総会

27日 令和7年自民党県連大会

30日 福寿会（一宮シニアクラブ）総会

5月 May

7日 甲府笛吹富士河口湖富士吉田線促進期成同盟会監査

9日 山梨県市議会議長会事務局職員研修会

11日 第21回笛吹市長杯争奪ソフトテニス大会

12日 議長経験者の会総会

14日 第114回全国市長会関東支部総会

15日 西関東道路整備促進期成同盟会監査

19日 全国温泉所在都市議会議長協議会、第54回総会

20日 全国市議会議長会、第101回定期総会

22～23日 関東市議会議長会新旧正副会長会議

26日 自治功労者表彰式

27日 質疑・質問受付開始

28日 社会資本整備推進山梨県議会議員連盟臨時総会および要望活動

リニア中央新幹線沿線10都府県同盟会総会

第21回笛吹市商工会通常総代会

29日 令和7年度振興協会理事会、文化協会定期総会

令和7年度笛吹交通安全協会定期総会

30日 令和7年度県下戦没者慰霊祭

令和7年第2回(6月)定例議会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
(神宮司正人議長を除く)

種別	案 件 名	笛新会						笛政クラブ			清心会			煌・フォーラム21			公明党		無会派		結 果
		海野利比古	保坂利定	神宮司正人	荻野謙一	神澤敏美	樋口滝人	古屋始芳	岡由子	荻野陽子	落合俊美	河野正博	山田宏司	山本茂貴	三枝賢治	鈴木駿一	渡辺清美	中川秀哉	松本なつき	河野智子	
報告	・ 一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 ・ 一般会計事故繰越し繰越計算書の報告 ・ 水道事業会計繰越計算書の報告 ・ 公共下水道事業会計繰越計算書の報告																				
専決※1	・ 市税条例の一部改正についての専決処分の承認 ・ 都市計画税条例の一部改正についての専決処分の承認 ・ 国民健康保険税条例の一部改正についての専決処分の承認	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
条例	・ 市営市部駐車場条例の制定 ・ 児童館条例の一部改正 ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び笛吹市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・ 笛吹市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正 ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度補正予算	・ 一般会計補正予算（第1号） ・ 国民健康保険特別会計補正予算（第1号） ・ 介護保険特別会計補正予算（第1号） ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ・ 水道事業会計補正予算（第1号） ・ 公共下水道事業会計補正予算（第1号） ・ 一般会計補正予算（第2号）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・ 動産の取得（本庁執務室レイアウト改修備品購入（2期）） ・ 動産の取得（高規格救急自動車購入） ・ 動産の取得（水槽付消防ポンプ自動車購入（明許））	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

用語解説

※1 専決とは…議会の議決が必要な事項を、市長が議会に諮らず決めること。
緊急で議会を招集する時間がない時など限られた場合のみ認められる。

6月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、12人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問

会 派
公明党



渡辺清美
議員

問
Ｌアラート（災害情報
共有システム）は

渡辺清美議員 災害発生時、地域住民等に必要な情報を迅速かつ効率的に伝達する共通基盤としてＬアラートがある。災害情報インフラとして一定の役割を担ってきた。

①避難情報入力で、全国各自治体のバラツキが指摘されているが、本市の組織体制は。
②情報入力で隣接自治体との情報交換、情報入力手順のガイドラインは。
③県との情報入力取り決めは。

答
速やかに避難情報発信

小林総務部長

①発信遅延が起きないよう速やかに避難情報入力、誤発信防止のため内容は複数職員で確認。
②山梨県総合防災情報システムで、隣接自治体の被害状況や避難情報の発令状況を即時に把握できる。Ｌアラート運用ガイドラインに沿って運用している。

③県開催の「山梨県Ｌアラート利用

者連絡会」で「避難情報等の入力は、できるだけ早く住民に情報が届くよう、速やかに発信すること」「市が発令する避難情報はＬアラートで発信すること」を確認している。

問
誰もが安心して
搾乳できる環境づくりは

渡辺議員 授乳室での搾乳は、まだ一般の理解が進まず、授乳室と搾乳室を併記した表示の行政施設や大型商業施設もあるが、その数は少ない。女性が出産後、安心して社会参画するため、公共施設で搾乳ができる環境を整えることが重要だ。授乳室や職場での搾乳など、安心して搾乳できる環境づくりの重要性を感じるが、市の考えは。

答
公共施設への授乳室増設も検討

田中子供すこやか部長

社会全体で搾乳に対する知識や理解を深め、安心して搾乳できる環境を整えていく必要があると考える。

より利用しやすい環境となるよう、先進自治体を参考に、授乳室で搾乳ができることを示す表示を行い、公共施設への授乳室増設も検討する。また、市ホームページや広報紙で、搾乳や出産後の女性の健康管理に対する理解を広める取り組みを進める。

派新会



神澤敏美
議員

問 大蔵経寺山の
防火線の整備は

神澤敏美議員

大蔵経寺山を管理する個人や組合の方々の高齢化が進み、

山道や頂上付近の整備ができない状態、木々や雑草が生い茂る状態となっている。そこで、山林火災の延焼を防ぐ目的で、森林と森林の間に樹木のない一定の空間を設ける「防火線」の整備について伺う。

①山林の防火線整備の法的な基準、補助事業の有無は。

②大蔵経寺山周辺にある、先人たちが切り開いた麓から尾根までの山道を防火線として活用するため、小型消防車両も通行可能な道路として整備することに市の見解は。

③防火線整備に、森林環境譲与税を財源として活用できないか。

答 設置基準、補助事業はない

河野産業観光部長

①森林法等の法令において防火線設置に関する基準は定められていない。また、防火線

整備に対する補助事業はない。

②森林における防火線は、森林の外周に空間地帯を設けることで、森林火災の延焼を防止し、火勢を鎮圧する施設とされている。法令に定めはないが、防火線としての機能を期待するためには、一般的に、おおむね10以上の間隔が必要とされている。大蔵経寺山の笛吹市管内に所在する範囲は民有林であるため、所有者が既存の道幅を含めて、おおむね10以上の幅員を設けるよう周辺の樹木を伐採することで、大蔵経寺山の山道に防火線の機能を持たせることは可能と考える。なお、この場合、森林法に基づく伐採届の提出や県の許可申請等の所定の手続きが必要となる。

③森林環境譲与税は、森林資源の健全な育成、整備等の費用に充てられるものであり、現状では、防火線の設置のみに森林環境譲与税を活用することは想定されていない。森林環境譲与税を活用した森林整備の対象となる人工林において、森林の伐採、植林を行う再造林が実施される場合には、造林地に周囲の森林資源を保護するための防火線を設置することは、その造林事業の一環として森林環境譲与税活用の対象になるものと考えている。

派新会
煌・フォーラム21



山本茂貴
議員

問 英語教育の推進は

山本茂貴議員

①市内小中学校の外国語指導助手（ALT）配置人数は。

②ALT授業参加頻度、活動内容は。

③ALTの増員予定は。

④増員により、ALTの授業参加頻度、活動内容、本市の英語教育は。

⑤ALT増員に向けた進捗状況と今後の予定は。

答 令和8年度から
ALT12人増員

手塚教育部長

①小学校専任5人、

中学校専任2人、小中学校兼務6人、合計13人のALTを配置している。

②小学校は3、4年生週1時限、5、6年生週2時限、中学校は週4

時限のうち1時限または2時限参加。基本的に英語だけで会話し、児童生徒が英語に親しむ環境を作っている。

③令和8年度に12人増員。これにより、本市のALTは22人となる。

④小学校は、増員後も参加頻度に変りはない。中学校は、4時限全て

に参加可能となる。ネイティブスピーカーとコミュニケーションの機会が増え、英語能力の向上や、英語学習に対する積極性や自信にもつながる。

⑤令和7年3月、事業者とALTの受け入れ支援および管理業務委託契約を締結。協定締結先はフィリピン共和国で、増員に向け、ALT22人の受け入れ準備を進める。

問 温泉施設は

山本議員

①なごみの湯・いちのみやもの里温泉の改修工事の進捗状況、みさかの湯・やまゆりの湯の改修工事に向けた進捗状況は。

②官民が連携した今後の取り組みは。

答 温泉の価値を
最大限引き出す

太田市民生活部長

①なごみの湯・いちのみやもの里温泉は、計画どおりに進捗している。みさかの湯は、リニューアルに向けた実施設計を行い、やまゆりの湯は、改修工事に係る実施設計完了。

河野産業観光部長

②市営と民間の温泉巡りツアー、官民連携の取り組みを検討するなど、本市の温泉の価値を最大限引き出すために積極的に取り組みを進める。

会派
新会



樋口 滝人
議員

問 個別施設計画の中で工期延長を行った建設工事は

樋口 滝人議員

①御坂中学校建築工事工期延長による市の負担増、生徒や教師に新年度への影響は。
②工期延長の市内業者が、工事の工期延期願いを出した同時期に「ものの里温泉施設建築工事」も受注しているが、①同様、支障は。落札業者決定の際、この点の考慮は。

答 生徒や教職員への影響はない

手塚 教育部長

①建築主体工事は、市の負担はない。電気設備工事および機械設備工事は精査過程、仮設校舎リースは、リース期間延長に伴う負担が見込まれ、請負業者と協議している。新校舎供用開始は令和8年1月で、新年度の授業や学校行事等を含め、生徒や教職員への影響はない。
太田市民生活部長 ②ものの里温泉改築工事は、計画どおりの進捗。本市では、入札参加申込み時に入札参加資格要件を満たしているかを審査

しており、落札者決定に当たり、別件を考慮することはない。

問 新庁舎建設を含めた庁舎管理は

樋口 議員

①本庁舎執務室レイアウト改修工事に、合計約3億円を一般会計から拠出するが、市民の来庁時の不便さは変わりない。市民の憩いの場やサロンを新設し、職員の休憩室にも配慮した駐車場の狭さを気にすることなく、気楽に来庁しやすい環境を整えるべきでは。

②庁舎の整備にこれからも費用増大するのなら、新庁舎建設を考えては。AIなどを駆使し、スリムな庁舎をハザードマップ上影響のない新天地への移設は。

答 中長期的に現在の庁舎を使い続ける

小林 総務部長

①令和8年度の統合書庫整備に向け、空く予定の本庁舎書庫スペースの活用を研究する。
②本庁舎は、約26億円を費やし、耐震改修、設備改修を完了している中で、中長期的には、これを使い続けることになる。一方で、本館が築58年、市民窓口館が築55年であることから、将来的には改修を行うのか、新庁舎建設を行うのか、研究することになる。

会派
民クラブ



荻野 陽子
議員

問 自然災害から自分の命と安全を守る取り組みは

荻野 陽子議員

①車中避難や自主的に公民館や民間企業や施設などへ分散避難している方の把握は。
②避難行動要支援者の避難の受け入れ計画は。
③(ア)地区防災計画の内容、作成している行政区の数は。
(イ)地区防災計画を作成した行政区で、防災力を高めるための独自の取り組み事例は。

④(ア)市民の皆さんが自分の命を自分で守るために、市の対応は。
(イ)避難行動要支援者が自分の命を自分で守るために、市の対応は。
(ウ)「マイタイムライン」の普及啓発の現状は。

答 地区防災計画の作成支援

小林 総務部長

①公民館等や行政区が防災協定を締結した民間企業への避難者は、行政区が把握し、市に報告。市が防災協定を締結した民間企

業の駐車スペースへの避難者は、市が把握。

②個別避難計画作成の要支援者は、計画に基づき受け入れ、未作成の要支援者は、指定避難所の要支援者スペースで受け入れを行い、状態に合わせ福祉事業所の受け入れや旅館、ホテル等の借り上げによる対応で要支援者の避難の受け入れを行う。

③(ア)地区防災計画は、区民の安否確認、被害者の救援や救護等の区の役割や初動対応を計画するもので、地震災害を基本に、水害や土砂災害への対応も計画する。計画作成済行政区数は、全132行政区のうち、45行政区。

(イ)「防災訓練の企画・運営」を位置付け、区独自で防災訓練を企画し、訓練を実施した事例がある。

④(ア)第一に「発災時、自分が無事であることが最も重要である」こと。また、ハザードマップで自宅の被害リスクを確認し、安全対策や生き延びるための水や食料などの備えについても伝えている。

(イ)要支援者台帳への登録、平時の情報共有のための同意、個別避難計画作成をお願いしている。

(ウ)自然災害に備え、市民が自らの命を守るための行動計画「マイ・タイムライン」の作成促進を、行政区やボランティアを介して行っている。

派 会
清心会



山田宏司
議員

問 学校を取り巻く環境は

山田宏司議員

① あいさつや会話をしない、運動会や文化祭に地域の人に参加できないことが、地域との関係性が薄れていく要因ではないか。
② 登下校中の児童生徒が交通事故に巻き込まれないことが急務、見解は。
③ 学校内での教職員、児童生徒の安全確保への見解は。
④ 教職員の労働時間の是正とモラハラ、パワハラ被害への対応は。

答 安全対策を検討・実施する

手塚教育部長

① 学校運営に地域の方や保護者が積極的に参加し、地域と連携強化を進める。
② 学校で取り組んでいる交通安全指導や、地域全体での連携が必要。
③ 児童生徒、教職員の安全確保を最優先に、実効性のある安全対策を検討・実施する。
④ 国や県、他自治体等の取組事例も参考に、長時間労働の是正に努める。

問 障がいのある人たちの働く環境と暮らしは

山田議員

① 市職員、非正規職員で、障がいのある方の雇用人数と割合は。
② 障がいのある方の人数と、そのうち就労している人数と割合は。
③ 市内企業の障がいのある方の雇用状況の把握は。
④ 障がいのある方が仕事を行っている施設数と人数は。
⑤ 障がいのある方と親が同居して仕事ができる施設誘致を行う考えは。
⑥ 農福連携の推進への取り組みは。

答 先進事例参考に研究

岩間保健福祉部長

① 正規職員410人、障がいある職員13人、3・17%。
② 身体障害者手帳所持者3、065人、療育手帳所持者624人、精神保健福祉手帳所持者696人、計4、385人。
③ 労働局所掌事務、市の把握はない。
④ 就労継続支援A型事業所は2事業所で、就労している人数は45人。
⑤ 当事者や家族の意見、先進事例を参考に研究する。
⑥ 農福連携推進センターを活用し、農業者と障害福祉サービス事業者をつなぐマッチングを支援する。

派 会
煌・フォーラム21



鈴木駿一
議員

問 こどもの居場所づくり推進と確保に向けた市の取り組みは

鈴木駿一議員

令和6年7月、笛吹市は「こどもまんなか応援ポータル」となることを宣言し、本年3月には「笛吹市こども計画」を策定、子どもの権利を保障するとともに、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会の実現、地域の将来を担っていく子どもたちを地域全体で支えていく取り組みを推進している。

今定例会、市長行政報告でも、人口減少対策を最重要課題と位置づけ、歯止めをかけるために子育て支援施策に特に力を入れているという、想いのこもった言葉もあった。その中で、「こどもの居場所づくり」推進や確保に向けた市の取り組みを伺う。
① こどもの居場所づくり推進および確保に向け、現在行っていることは。
② 「こどもの居場所づくり」のために、今後、市が行っていくこと、現状の課題は。

答 様々な場所で居場所づくりを推進

田中子供すこやか部長

地域とつながりの希薄化、少子化の進行で、子ども同士が遊び・育ち・学び合う機会が減少し、地域コミュニティの中で育つことが以前よりも難しい。
① 国では「こどもの居場所づくり」を推進していくため、令和5年12月に「こどもの居場所づくりに関する指針」を閣議決定した。その指針では、子どもにとって居心地が良いと思えるものであれば、どんな場所・時間・人との関係性であっても、子どもの居場所となり得るとしている。市の広報紙に「こどもまんなか宣言」に関係する取り組みを紹介するコーナーを設け、その中でこども食堂などの活動に関する記事を掲載し、居場所を必要とする子どもに向け広く情報を発信している。
② 市が主体となっていく事業は、子どもの声を聴き、子どもの視点に立ち、多くの子どもたちにとって安心して、居心地が良いと感じられるような居場所づくりを、ハード・ソフトの両面から検討していく。民間主体の活動に対しては、立ち上げや運営の相談に対応するほか、必要に応じて関係部署につなぐなど、積極的に支援していきたい。



三枝賢治
議員

問 農業振興事業は

三枝賢治議員 ①令和6年度現在の収入保険加入者数、そのうち新規加入者数、当該補助事業の実績、今後の事業周知は。
②農業塾の講習会利用者のうち新規就農者は。
③農業後継者や担い手確保の現在の取り組み状況と今後の取り組みは。
④世界農業遺産のブランド価値を高めるため、甲州市・山梨市と連携した事業展開の今後の取り組みは。

答 担い手育成・支援に取り組む

河野産業観光部長 ①収入保険加入数は472経営体、うち新規加入は100経営体で、令和5年度新規加入数から38経営体増加。保険業務取り扱いのNOSAI山梨と連携して周知。
②令和6年度までの4年間で1、162人が受講、うち新規就農者は73人。

③国による認定新規就農者の機械・施設等の導入支援や農業経営開始資金の支援、県の親元就農促進支援事業など各種事業を活用し、担い手の育成、支援に取り組んでいる。
④果樹農業システムの歴史と特徴、地域で栽培された農産物の優れた品質を広く発信し、ブランド価値の向上に向け取り組む。

問 上下水道管路の老朽化および耐震化は

三枝議員 ①上下水道管の敷設替え工事や維持管理の基準は。
②現在の上下水道の耐震化率は。
③下水道管路の腐食による陥没事故や、水道管破裂による事故発生時の対応マニュアルとその内容は。
④上下水道の老朽化や耐震化に係る今後の取り組みは。

答 優先順位決める計画的に進める

佐藤公営企業部長 ①水道管法定耐用年数40年、下水道管は50年を基準。
②水道管の基幹管路、導水管、送水管、配水本管の31・7%が耐震化。
③道路管理者や工事業者への連絡方法、現場対応の方法をとりまとめ、職員で共有している。
④ストックマネジメント計画で優先順位を明確にし、計画的に進める。



河野智子
議員

問 青楓美術館の今後は

河野智子議員 ①政策課を中心に検討する「方針・方向性」とは。主に文化財課で検討する「具体的整備内容」との境は。
②市所有の美術品の作者と作品数は。
③美術品の保管は適切に行われ、劣化を防ぐための対策がされているか。
④検討期間が約半年では短いのでは。
⑤市民への説明の機会は。

答 文化施設の在り方・展望を示す

小澤総合政策部長 ①市が目指す文化施設の在り方の基本的な考え・展望などを示す。具体的整備内容は、決定した方針・方向性の具現化に向け、施設をどう整備するか示すもの。
②津田青楓の作品1、101点、穴山勝堂の作品15点、笛吹市ゆかりの高野史静の作品65点など、91人の作者1、421点を所有。
③収蔵庫等で適切に保管しているが、収蔵庫は青楓美術館以外にはなく、

その収蔵量も限界。
④予定しているスケジュールは適当であると考えている。
⑤現時点では、市民説明会等の開催は想定していない。

問 補聴器購入と聴力検査補助は

河野議員 ①18歳以上64歳以下の難聴者への助成事業の収入要件は。
②65歳以上を対象とした助成制度の対象者を広げる考えは。
③高齢者が集まる機会に、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会の聞こえ方のセルフチェック項目を活用しては。
④高齢者に年に一度、聴力検査ができる受診券を発行しては。

答 助成対象の制度拡大を研究

岩間保健福祉部長 ①市民税所得割額46万円以上の方がいない世帯に属する方。
①介護保険料の所得第1段階から第4段階の方を対象。拡大は研究する。
②県の取り組みを参考に、セルフチェック項目の活用を研究していく。
③④語音聴力検査には、専門的な機器と技能が必要なため、先進自治体の事例を参考に研究していく。

会 派
公明党



中川秀哉
議員

問 市民の命と暮らしを守る
経済支援事業は

中川秀哉議員 ①生活保護（相談から受給まで）の件数・人数・給付額など対応状況と今後の課題は。
②重点支援地方交付金のうち本市への交付金額と充当予定の主な事業は。
③市単独の経済支援・負担軽減策が求められるが、取り組みと課題は。
④国・県へ経済支援・負担軽減策を求める要請など、本市の取り組みは。

答 状況に応じ必要施策を検討

小澤総合政策部長 ①令和6年度の相談延べ件数190件、生活保護受給者数855人、生活保護費給付額が15億5、700万円。自立の助長が課題。
②市に示された交付限度額は3、236万円。国が示した生活者支援や事業者支援の推奨事業メニューを参考に、本交付金の充当事業を検討。
③④市単独の経済支援・負担軽減策は、財源確保が課題。社会経済情勢

に応じて必要な施策を検討する。

問 可燃ごみの収集の改善は

中川議員 ①自治会集積所の数、個別収集の数、新規の設置数は。

②自治会未加入者の割合と未加入者の可燃ごみの収集方法は。
③合併以降、関係機関に可燃ごみ収集に対する意識調査実施は。
④高齢者ゴミ出し支援事業（ワンコインサービス補助金事業）の実績数と今後の展望は。
⑤今後、可燃ごみ収集の改善が求められると思うが、取り組みと課題は。

答 効率的な
収集運搬体制を検討

太田市民生活部長 ①行政区管理の可燃ごみ収集場所は1、507カ所。
②未加入世帯数は7、658世帯、未加入率は24・82%と推計。甲府・峡東クリーンセンターに直接搬入を案内。
③意識調査を実施したことはない。
④令和5年度、6年度は実績なし。引き続き事業の見直しを含め検討する。
⑤ごみ集積所までごみを出すことが困難な方の増加が懸念される。現状の収集体制を維持しつつ、効率的な収集運搬体制の在り方を検討する。

無会派



松本なつき
議員

問 芦川地区の宝珠寺、百番観音に設置された公衆トイレは

松本なつき議員 市民から必要性や存続の希望がある施設は、ふるさと納税を財源として活用するなど、市民のため維持管理を再考する考えは。

答 地元行政区の意向に沿って
譲渡または廃止の予定

河野産業観光部長 百番観音公衆便所は、地元行政区と譲渡または廃止に向けた協議。現在、地元行政区からの回答を待つ状況。利用者が宝珠寺に墓参りに訪れる方々で、観光客の利用は見られず、近隣にはおごっそう家やずらんの里のトイレがあり、誰でも自由に利用できるため、観光客には不便をかけない状態となっている。今後、地元行政区からの回答を受け次第、その意向に沿って譲渡または廃止をしていく予定。

問 笛吹市の関係人口を増やす
ための取り組みは

松本議員 ①市は細かい「ふるさと納税」の使い道が設定されていないが、設定することで寄付者が興味をもち、寄付額の増加が考えられるが、今後、細かい用途を設定する考えは。
②「ふるさと住民登録制度」は、最低限の人員で多くの効果が期待できるように考えられている。人員不足なら市民もアドバイザーとして参加してもらうなどの対策は取れる。ふるさと住民登録制度の導入は。

答 国の動向も注視し検討

小澤総合政策部長 ①笛吹市のふるさと納税では、まちづくり寄附条例に基づき「『日本一の桃源郷』の保全と活性化に関すること」など、6つの項目から使い道を選択していたで、より広く、柔軟に活用することとしている。山梨県をはじめ、県内市町村全てが本市同様、分野ごとに区分けした選択肢から選んでいたでいる状況である。
②国がまだ創設に向けた検討をしている段階。国の動向を注視し、検討していく。



落合俊美
議員

問 高齢者等のごみ出し支援
事業関係は

落合俊美議員

①笛吹市高齢者等ごみ出し支援事業実施要綱を制定した目的は。

②支援事業実施要綱の、対象世帯第4条住民税非課税の者でないと対象とならない理由は。

③支援事業実施要綱第4条(1)イ市民税が非課税の者および(2)ア75歳以上で介護保険法第19条第1項に規定する要介護1以上の認定を受けた者、この要綱の両方に該当する方は何名か。

④支援事業実施要綱を制定した令和5年3月27日から本年3月末まで、2年間の第6条の申請された実績は。

⑤シルバー人材センターが実施している、ワンコインサービスを利用したごみ出しサービスとの連携は。

答 住み慣れた地域で
安心して暮らせるために

岩間保健福祉部長 ①自らの力でごみを収集場所まで搬出することが困

難で、他者からの協力を得ることができない高齢者に対し、ごみ出しを依頼できる既存サービスの利用にかかる費用の一部を補助し、高齢者の日常生活における負担軽減や、住み慣れた地域で安心して暮らせることを目的として制定した。

②市の住民基本台帳に記録されており、75歳以上で要介護1以上の認定者で、市民税非課税の方のみで構成する世帯。高齢者の日常生活における負担軽減の事業目的から、高齢者がごみ出しを依頼できる既存サービスの利用で、経済的な負担が大きいと見込まれる方を対象とした。

③令和7年4月1日現在、要綱で定める要件を満たす方は979人。

④令和5年度から6年度までの2年間で、申請者数は0人、費用も0円。

⑤ごみ出し支援を行う事業者として、笛吹市シルバー人材センターと委託契約を締結。対象者がシルバー人材センターのワンコインサービスを利用してごみを搬出する場合、1回当たりの料金となる500円について2分の1に当たる250円と市が発行した利用券で支払いを行い、市が翌月に利用券分として250円をシルバー人材センターに支払う。

議員表彰

4月16日に開催されました第273回山梨県市議会議長会定期総会におきまして、市政の振興と発展にご尽力された功績により、「古屋始芳議員」「落合俊美議員」「神澤敏美議員」が表彰されました。6月10日、議場にて表彰状の伝達式を行いました。



議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページで会期日程・質問内容（表題）を公開しています。

9月 2日(火)	午後1時30分～	行政報告・議案説明・決算審査報告
9日(火)	午前10時～	質疑及び代表質問
10日(水)	午前10時～	質疑及び一般質問・付託
11日(木)	午前10時～	質疑及び一般質問（予備日）
26日(金)	午後1時30分～	各委員会の審査報告・討論・採決

※日程などに変更がある場合もあります。 ※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。 ※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継をご覧いただけます。

お知らせ

- ・市議会議事堂（八代庁舎）1階ロビーのモニターで、議会中継をご覧いただけます。
- ・市ホームページにて、過去の代表質問・一般質問の動画をご覧いただけます。

総務常任委員会

委員長 山田 宏司
副委員長 三枝 賢治
委員 岡 由子
萩野 謙一
保坂 利定
中川 秀哉

6月19～20日、26日の3日間、委員会を開催。付託された令和7年度一般会計補正予算、動産の取得を審査し、賛成全員で原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 防災行政無線管理事業の、新型Jアラート受信機セッティングの内容説明を求める。

A 国はこれまで市町村で一律に発信されていた避難情報を、地域単位で細分化して発信できるよう、Jアラートのシステム更改を予定しており、地方公共団体に對し、令和7年度中にシステム更改に對応したJアラートの新型受信機を整備するよう求めている。なお、当該事業は、令和7年度末までに整備を行った場合、緊急防災・減災事業債の對象となる。

〈総合政策部所管〉

Q 東京で行われるふるさと納税イベントへの出展について、イベント内容の詳しい説明を求める。

A 笛吹市のふるさと納税の3割以上のシェアを占めるポータルサイトが、初めてのイベントを実施するという情報が4月以降に寄せられた。2日間で2万人を集め、約150自治体が申し込みをしているイベントであり、県内の他市町村においても参加の意向が示されていることから、本市も参加し笛吹市を知ってもらうため、観光・移住のパンフレット等の配布や、試食・試飲等も行う予定である。

建設経済常任委員会

委員長 落合 俊美
副委員長 鈴木 駿一
委員 樋口 滝人
海野利比古
松本なつき
古屋 始芳
神宮司正人

6月19～20日の2日間委員会を開催、条例の制定、令和7年度一般会計補正予算、水道事業会計補正予算、公共下水道事業会計補正予算を審査し、原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈産業観光部所管〉

Q 企業の農業経営推進支援モデル事業補助金の、詳細な説明を求める。

A 市内で1畝以上の経営面積を持つ農業法人が荒廃農地を復旧し、経営面積を拡大することを支援するもので、補助内容は復旧した農地に必要な農業用水確保のための井戸の掘削、ポンプ設置工事に補助金を交付するものである。

〈建設部所管〉

Q 洪川排水機場非常用自家発電機修繕の、当該発電機の点検の頻度と故障発見の経過等の説明を求める。

A 専門業者に委託を行い、設備を稼働させるための制御盤・発電機の動作確認などは月1回、電気事業法に基づき法定点検を2カ月に1回行っている。令和7年3月25日の点検の際に発電機内部のオイル漏れが確認され、修繕する必要があることから、今回の補正をお願いするものである。

〈公営企業部所管〉

Q ストックマネジメント実施方針策定業務委託で、ストックマネジメントにより優先する場所はどこか。
A 早期に下水道を整備した石和町および春日居町が

用語解説

ストックマネジメント

既存のインフラ施設を長期的な視点で捉え、老朽化状況を考慮し維持管理・更新していくこと。

優先されると考えられる。また、今年度はストックマネジメントの実施方針の策定であるため、引き続き実施方針の結果を基に、令和8年度に管路等の修繕・更新について策定業務を行う予定である。



東京太田市場JAふえふき桃フェアへ参加

教育厚生常任委員会

委員長 神澤 敏美

副委員長 荻野 陽子

委員 山本 茂貴

河野 正博

河野 智子

渡辺 清美

6月19・20日の2日間委員会を開催、条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算、特別会計補正予算を審査し、原案の通り可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈保健福祉部所管〉

Q 難聴者補聴器助成事業の詳しい説明を求める。

A 身体障害者手帳を所持している聴覚障害者を対象とした補装具費補助制度や、18歳未満の難聴児を対象とした市難聴児補聴器購入費助成事業を実施しているが、18歳から64歳までの軽度・中等度の難聴者に対する補聴器の補助制度がなく、市単独で実施する。他市で実施している類似事業の実績に基づき、本市の人口規模で算出し13件を見込み、予算を要求する

Q 13件を超えて申請がある場合の対応は。

A 予算の範囲内で助成す

ることが前提だが、事業実績に応じて対応していく。

〈教育委員会所管〉

Q リーディングDXスクール事業の説明を求める。

A ICT事業で配布した一人一台タブレット端末などを利用し、情報活用能力の育成と端末同士の連携による児童同士の情報共有など、先進的な事例を実施し、全国の学校に情報を展開すること、GIGAスクール構想の加速化を図る目的で文部科学省が行う研究指定事業。本市では令和7年4月、春日居小学校および春日居中学校が、全国で100校が指定されるリー

ディングDX研究指定校に指定された。県立笛吹高等学校が、DXハイスクールの指定校となっており、本市は小・中・高が連携して、教育現場のDX研究に取り組むことができる環境になった。

Q 八代総合会館改修事業の補正予算について、さらに詳しい説明を求める。

A 既存設備の改修工事で

あることから、基本設計を行わず令和6年7月に実施設計業務委託を発注した。令和7年3月、実施設計を請け負う設計業者から「空調設備更新について、現在の設備と同等能力の機器への更新では、施設に必要とされる容量に満たないため、今の設計成果では能力不足が生じている」との報告を受け、施設の容量に見合っ

た能力の空調設備を設置するため、工事内容を見直したことに伴い工事費が増加した。また、設計変更に伴う設計費の増額分は、空調設備の能力不足および電源設備の容量不足について、設計業者が市へ報告をした時期が遅く工期延期の要因になったことを踏まえ、設計業者から、費用を市に請求しない意向を確認した。

【意見】

市民の皆さんが聞いても納得していただける内容で進めてもらいたい。また、工事関係の補正は、これまでの事業もいくつかあったので、市役所、業者ともお互いの信頼関係のなかで、双方の反省のもと、今後はしっかりと進めてもらいたい。

【継続審査】

学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のための教職員定数改善と「カリキュラム・オーバードロード」の改善および義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書は、継続審査となった。



なごみの湯臨時駐車場視察の様子



春日居ベリー



春日居町加茂
金山 香苗さん

私はママさんバレーボールチーム「春日居ベリー」の主将を務めています。今年5月に開催された、第29回山梨中央銀行杯山梨県ママさんバレー

ボール大会で5大会ぶりの優勝を果たしました。28歳〜54歳と幅広い年齢層の中で、優勝を目標に週2回、日々練習に励んでいます。

私はチームに所属して6年目となります。子供が小さかったり仕事で忙しい中でも、バレーボールを楽しむことを忘れずにいたことが今回の勝利に繋がりました。これからも周囲の人々のサポートの中でバレーボールができる環境に感謝し、優勝できるように頑張ります。

マスタードと足湯と



石和町今井
風間 早希さん

私は笛吹市の地域おこし協力隊を経て、現在はマスタードを製造・販売する会社を経営しています。協力隊在任中に「マスタードの起源は、未熟なブドウ果汁とカラシナの種を合わせた

もの」という説からヒントを得て、市内のブドウを活用したマスタードづくりを始めました。現在は縁あって「石和源泉足湯ひろば」内で店舗を構えています。同所を訪れるほとんどは県外からのお客様です。ゆったりとした良い場所なので、私はもっと地元の方々にも親しんでもらいたいと試行錯誤しています。「マスタードと足湯」という一見関係性のなさそうな2つの視点から、地域おこしのきっかけをこれからも探っていきたいと思っています。

表紙説明

6月1日、第29回山梨中央銀行杯山梨県ママさんバレーボール大会で、ママさんバレーボールチーム「春日居ベリー」が見事優勝しました。
おめでとうございます！

編集後記

6月議会が終了し、今号ではその内容を中心にお届けいたします。

本年は戦後80年という節目の年です。世界に目を向けると、ロシア・ウクライナ情勢や中東地域の不安定な状況など、平和が脅かされる現実が続いています。日々の暮らしが平穏であることの尊さを改めて感じる機会となっています。

笛吹市では、桃や葡萄など農作業が本格化し、多くの皆さんが早朝から畑で汗を流しています。この号がお手元が届く頃には夏真っ盛り。厳しい暑さが続き、熱中症のリスクが高まり、時には命を脅かします。こまめな水分補給と適度な休憩を心がけてください。

これからも、議会だよりが少しでも市政を身近に感じるきっかけになればうれしいです。ご意見・ご感想も、ぜひ気軽にお寄せください。

議会広報編集委員 三枝 賢治

